

看護リハビリテーション学部看護学科専攻科目のカリキュラムマップ

養成する人材像			豊かな人間性と高い倫理観を培い、生命の尊厳を基盤に、対象者とその家族・コミュニティを中心にした看護が実践でき、地域・国際社会で活躍できる人材を育成する。					
ディプロマ・ポリシー			DP1 知識・理解 (1) 対象者とその家族・コミュニティを中心にした看護のために、ライフサイクルおよび社会環境を踏まえた対象理解ができる。 (2) 科学的根拠に基づいた看護を実践するための、専門知識が理解できる。 DP2 汎用的技能 (1) 社会文化的背景の理解のもとにコミュニケーション能力を活かして、対象者と共に建設的で対等な関係性を築くことができる。 (2) 多職種との連携においてチームの一員としての役割を理解し、メンバーシップ、リーダーシップが発揮できる。 DP3 態度・志向性 (1) 国際・情報化社会に柔軟に対応できる基礎的な能力を身につけ、グローバルな観点から看護を志向することができる。 DP4 統合的な学習経験と創造的思考力 (1) 人間を尊重する態度のもと、個人および集団に対する健康と生活の質の向上のために、その人々にあった創造的なケアの実現を目指すことができる。 (2) 看護専門職としての責任と倫理的態度を身につけ、生涯学習者として自律・自立した学習を推進するための能力向上に努めることができる。					
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	ディプロマ・ポリシーを達成するために ◎特に重要な項目 ○重要な項目 △望ましい項目					
			DP1 知識・理解 (基礎力)	DP2 汎用的技能 (思考力・実践力)	DP3 態度・志向性 (思考力・実践力)	DP4 統合的な学習 経験と創造的思考力 (実践力)		
専攻科目	人間理解の基礎科目	解剖学	○	◎	○	○	○	
		生理学	○	◎	○	○	○	
		微生物学	○	◎	○	○	○	
		病理学	○	◎	○	○	○	
		薬理学	○	◎	○	○	○	
		栄養学総論	○	◎	○	○	○	
		疾病治療論Ⅰ	○	◎	○	○	○	
		疾病治療論Ⅱ	○	◎	○	○	○	
		疾病治療論Ⅲ	○	◎	○	○	○	
		公衆衛生学	○	◎	○	○	○	
		医療と社会福祉学	○	◎	○	○	○	
		保健統計学	○	◎	○	○	○	
		疫学	○	◎	◎	○	○	
		保健情報学	○	◎	◎	○	○	
		臨床心理	○	○	○	△	△	
	国際保健	○	◎	○	○	○		
	基礎ゼミ	○	◎	◎	◎	○		
	多文化理解のための看護英語Ⅰ	○	◎	○	○	○		
	多文化理解のための看護英語Ⅱ	○	◎	○	○	○		
	多文化理解のための看護英語Ⅲ	○	◎	○	○	○		
	多文化理解のための看護英語Ⅳ	○	◎	○	○	○		
	実践科目	多職種連携	リハビリテーション概論	○	◎	○	○	○
			医療コミュニケーション論	○	◎	○	○	○
			理学・作業療法論	○	○	○	△	△
			医療リスクマネジメント	○	◎	◎	◎	○
			医療倫理	○	◎	○	○	○
	チームケア論	○	○	◎	○	◎		
専門科目	基盤実践看護学科目	看護学原論	○	◎	◎	◎	◎	
		基盤実践看護学演習Ⅰ	○	◎	◎	○	◎	
		基盤実践看護学演習Ⅱ	○	◎	◎	○	◎	
		基盤実践看護学演習Ⅲ	○	◎	◎	○	◎	
		看護過程Ⅰ	○	◎	◎	○	○	
		看護過程Ⅱ	○	◎	◎	○	◎	
		看護理論	○	◎	◎	◎	◎	
		医療人のための倫理学概説	○	◎	○	○	◎	
		基盤実践看護学実習Ⅰ	○	◎	◎	◎	◎	
		基盤実践看護学実習Ⅱ	○	◎	◎	◎	◎	

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	ディプロマ・ポリシーを達成するために ◎特に重要な項目 ○重要な項目 △望ましい項目				
			DP1 知識・理解 (基礎力)	DP2 汎用的技能 (思考力・実践力)	DP3 態度・志向性 (思考力・実践力)	DP4 統合的な学習 経験と創造的思考力 (実践力)	
専攻科目	臨床実践看護学科目	臨床実践看護学演習	○	◎	◎	◎	○
		成人看護学概論	○	◎	○	○	○
		成人看護学方法論Ⅰ	○	◎	◎	◎	○
		成人看護学方法論Ⅱ	○	◎	◎	◎	○
		ヘルスアセスメント	○	◎	◎	◎	○
		成人看護学実習Ⅰ	○	○	◎	◎	◎
		成人看護学実習Ⅱ	○	◎	◎	◎	◎
		老年看護学概論	○	◎	○	○	△
		老年看護学方法論	○	◎	◎	○	○
		老年看護学実習	○	○	◎	◎	◎
		小児看護学概論	○	◎	○	○	○
		小児看護学方法論	○	◎	◎	◎	○
		小児看護学実習	○	◎	◎	◎	◎
		ウイメンズヘルス看護学概論	○	◎	○	○	○
		ウイメンズヘルス看護学方法論	○	◎	◎	◎	○
		ウイメンズヘルス看護学実習	○	◎	◎	◎	◎
		精神看護学概論	○	◎	○	○	△
		精神看護学方法論	○	◎	◎	○	○
		精神看護学実習	○	○	◎	◎	◎
		地域・在宅看護学概論	○	◎	○	○	○
		地域・在宅看護学方法論Ⅰ	○	◎	○	◎	○
	地域・在宅看護学方法論Ⅱ	○	◎	◎	◎	○	
	地域・在宅看護学実習Ⅰ	○	◎	○	◎	○	
	地域・在宅看護学実習Ⅱ	○	◎	◎	◎	◎	
	看護実践統合科目	看護研究Ⅰ	○	◎	△	△	○
		臨床判断	○	○	◎	◎	◎
		看護倫理	○	◎	◎	○	◎
		看護管理学	○	◎	◎	◎	◎
		看護教育学	○	◎	◎	◎	◎
		統合実習	○	○	◎	◎	◎
		看護研究Ⅱ	○	◎	◎	○	○
		家族看護論	○	◎	◎	○	○
		エンド・オブ・ライフケア論	○	◎	○	◎	△
		災害看護学	○	◎	○	◎	△
	看護総合演習	○	◎	○	○	◎	
	地域健康支援科目	公衆衛生看護学概論	○	◎	○	○	○
		公衆衛生看護学活動論Ⅰ	○	◎	○	○	○
		公衆衛生看護学活動論Ⅱ		○	◎	○	○
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ		○	◎	○	○
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ		○	○	◎	○
		公衆衛生看護学方法論Ⅲ		○	○	○	◎
		学校保健学概論		◎	○	○	△
		保健医療福祉行政論Ⅰ		◎	○	○	○
		保健医療福祉行政論Ⅱ		○	◎	○	○
		公衆衛生看護学実習Ⅰ		○	○	○	◎
	公衆衛生看護学実習Ⅱ		○	○	○	◎	
	女性健康支援科目	医療遺伝学		◎	△	○	△
生殖科学			◎	○	○	△	
新生児学			◎	○	○	△	
助産学原論			○	○	◎	○	
地域母子保健学			◎	○	○	○	
助産診断技術学Ⅰ			○	◎	○	○	
助産診断技術学Ⅱ			○	◎	○	○	
助産診断技術学Ⅲ		○	○	◎	○		

科目区分			授業科目の名称	主要授業科目	ディプロマ・ポリシーを達成するために ◎特に重要な項目 ○重要な項目 △望ましい項目			
					DP1 知識・理解 (基礎力)	DP2 汎用的技能 (思考力・実践力)	DP3 態度・志向性 (思考力・実践力)	DP4 統合的な学習 経験と創造的思考力 (実践力)
専攻科目	専門科目	支援科目 女性健康	助産診断技術学演習		○	◎	○	○
			統合助産		○	○	○	◎
			助産管理		◎	○	○	○
			助産学実習Ⅰ		○	◎	○	○
			助産学実習Ⅱ		○	○	○	◎
	養護実践科目	養護教育	学校保健(学校安全含む)		◎	○	○	△
			養護学概説		○	○	○	◎
			健康相談活動論		○	○	○	◎